

甲府市議会だより

新しい議会体制決まる！
副議長に萩原隆宏氏 当選

6月定例会

第166号 平成22年8月1日

編集・発行 甲府市議会だより編集委員会

電話 055(235)7054 FAX 055(227)5126

Email: gikai@city.kofu.yamanashi.jp

甲府市議会



水源林植樹の集い
(黒平町「市民いこいの里」にて 平成22年6月5日撮影)

主な内容・ページ

- ・あいさつ／質問要旨一覧…………… 2
- ・市政質問／日程／請願・陳情審査結果……………3～7
- ・審議結果…………… 8
- ・甲府商工会議所での本会議がスタート…………… 9
- ・意見書／インターネット情報……………10
- ・新しい議会構成／人事案件／議員表彰……………11
- ・常任委員会の構成……………12

あいさつ



甲府市議会議長

桜井 正富



甲府市議会副議長

荻原 隆宏

平成二十二年六月定例会において、新しい議会体制が決まり、今年度も議長を継続していくこととなりました。

また、第百二代副議長に荻原隆宏君が選任されました。今後のご活躍を期待したいと思います。

本年度は、新庁舎建設に伴う仮庁舎への一時移転が行われ、議会本会議は、新庁舎完成までの三年間、甲府商工会議所の五階多目的ホールで行われます。市民への開かれた議会を目指して議会運営に取り組んでまいりたいと思います。

本市では、新政策プラン「わがの都・こうふプロジェクトⅡ」の最終年度として、より一層の推進を図り、将来にわたる持続的な発展を目指し、さらなる歩みを進めております。

このような中、甲府市議会が果たすべき役割は、ますます重要となっており、今後さらなる議会機能の強化と活性化に努めてまいり所存であります。

本市議会のさらなる発展を願い、市民の皆様により身近に感じられ、信頼される議会を目指してまいりますので、今後もより一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成22年 6 月定例会質問要旨一覧

氏 名	発言の種類 (方式)	質 問 項 目
秋山雅司	代表質問 (一問一答)	・市長の政治姿勢について (子宮頸がんワクチン接種の助成について) ・指定管理者制度の導入について ・甲府市土地開発公社について
中込孝文	代表質問 (二問一答)	・市長の政治姿勢について ・入札制度改革について ・街づくりについて
石原 剛	代表質問 (二問一答)	・国民健康保険について ・口蹄疫対策について ・特別支援学級、通級指導教室について
荻原隆宏	代表質問 (二問一答)	・シティーセールスについて ・地域公共交通について ・雇用対策について
小野雄造	代表質問 (二括)	・新庁舎建設に伴う市内建設関係業者の活用について ・旧市立甲府病院跡地にある甲府市医療福祉会館と小児初期救急医療センターの存続について ・荒川と笛吹川を結ぶ盆地一周(仮称)信玄の郷ジョギング・サイクリング全国大会の開催について
渡辺礼子	一般質問 (一括)	・子宮頸がんの予防ワクチン助成事業について ・市営北新団地建替え事業対策について ・観光スタンプラリー事業の提案について
池谷陸雄	一般質問 (一問一答)	・国民健康保険特別会計のスタッフの充実と課の再編について ・中水道への送水について ・甲府南インターを核とした本市の表玄関の拠点整備について
飯島 脩	一般質問 (二問一答)	・北部地域振興策について ・公共交通について ・がん対策について
田中良彦	一般質問 (二問一答)	・国民文化祭の取組みについて ・山崎方代生家跡の整備について ・地方卸売市場への転換について

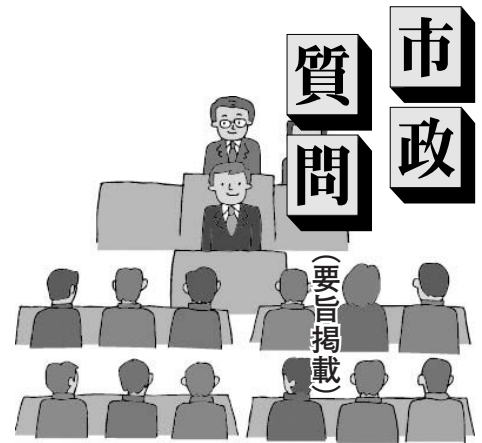
一問一答：質問項目ごとに質疑応答を行う。一括：質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。



公明党

秋山 雅司

子宮頸がんワクチン接種の 助成について



【問】平成二十二年三月定例会で公明党が、子宮頸がんワクチン接種に公費助成をするよう市長に進言したのを受けて、宮島市長が横内知事と連携し、県が一万五千元、甲府市は三万円の合計四万五千元の公費助成をするため、今議会に補正予算として計上されました。そこで質問ですが、医師会に四万五千元以下で接種できるようにお願いし、窓口無料化に努力を求めます。

また、ワクチン接種者が予定より多くなり、今回の補正予算をオーバーした場合には予算をさらに追加補正すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

【答】ご質問の実施医療機関窓口での無料化については、本ワクチンの接種が任意で実施されるため、事業の助成額を上回る自己負担が生じることも考えられることから、現在、こうした負担の軽減について、甲府市医師会へご協力をお願いしているところであります。

また、見込みを上回る接種状況が生じた場合においては、本事業の趣旨・目的に照らして、全ての接種者に対し助成できるよう、議会のご理

解をいただく中で、必要な予算の確保に努めていきます。

入札制度改革について

市民クラブ

中込 孝文



【問】本市では、入札制度改革にあたり、最低制限価格についてどのような考えをもっているのかお聞きたい。

また、最低制限価格を引き上げる自治体側の言い分として「落札率が下がると工事の質が落ちる恐れがある」との主張がありますが、この点についてどの様にお考えでしょうか。

平成二十年度の予定価格税抜き五千万円以上の工事の落札率九十七・九%は競争原理が働かなかったか、あるいはきわめて弱かったといえるのではないのでしょうか。

競争原理をどう生かすかは、発注者側の最大のポイントではないでしょうか。

【答】平成二十年度の落札率については、当時の資材価格の急激な高騰などの厳しい経済状況における競争の結果であると認識しておりますが、地方公共団体が行う工事請負契約は、財政面からみる経済性の追求とともに、公共工事の適切な施工や品質保持も強く求められていることから、今後においても、価格競争のみの視点にとどまらず、企業の技術力、社会的信頼や貢献度などの企業経営の要素を総合的に評価する「総合評価方式」の拡大や、一般競争入札の参加要件である工事施工実績の緩和など競争性を高める取り組みも行う中で、入札制度の継続的な改革を進め、適正な公共工事の発注及び執行に努めていきます。

国民健康保険について

日本共産党

石原

剛



【問】国民健康保険の現状について、高い保険料と厳しい経済情勢の下、収納率は過去最低、滞納世帯も加入者の三十二%となっています。収入の二割近い保険料は払いたくても払えないくらいの高さになっています。市長は、この高すぎる保険料をはじめ、国民健康保険の現状をどのように認識されますか。

また、高すぎる保険料が、滞納世帯の増加や収納率の低下、国保財政の悪化と、負の連鎖をつくりだしています。国に対して、国庫負担を元に戻

すよう強く働きかけると同時に、一般会計から繰り入れることによって、高すぎる保険料は直ちに引き下げ、払える国保料にすることが必要と考えますが、いかがでしょうか。

【答】本市国民健康保険は、昨今の急激な景気の悪化や厳しい雇用環境を反映し、保険料収納率が低迷する一方、医療の高度化や、高齢化の進行等に伴う医療費の増加などにより、現行制度の中で、健全運営を行うことが困難な状況にあります。

こうした中、国庫負担金の削減は、国保財政はもとより、その補填を行う本市の一般会計においても大きな影響を及ぼしており、この国庫負担金の復元につきましては、全国市長会を通じて要望してきたところでありますが、さらに強く働きかけていきます。

また、一般会計からは、法令に基づき繰り入れとともに、地方単独の各種医療助成制度導入に伴う国の負担金等の減額分の繰り入れと、昨年度においては、財政調整交付金の過大交付分の国への返還に伴い、県から借り入れた資金の償還額に相当する金額を繰り入れています。

シティーセールスについて

政友クラブ

荻原

隆宏



【問】近年の情報通信技術の革命的な進歩や、物流ネットワークの整備が進むなかで、甲府市としても地域ブランド価値の向上と、それを売り込んでいくシティーセールスの取り組みが欠かせません。昨年四月にはシティープロモーション担当課を設置し、市長が先頭に立って推進してきましたが、その成果についてお答えください。

また、ふるさと納税制度を効果的に利用することで、税収の確保にとどまらず、甲府の物産の紹介とそ

れに伴う販路拡大や観光客の誘致など、関係する多くの分野に波及効果が見込まれるのではないのでしょうか。甲府市を全国的に売り込む機会に繋がると考えますが、どのように取り組むのかお答えください。

【答】首都圏や中京圏の県人会の総会やイベントなどに精力的に出席し、シティーセールスを行い、本市の魅力のPRに努めてきました。特に本年二月の「首都圏甲府会」の設立は、誠に感慨深いところです。

ふるさと納税制度については、一層の有効活用を図るため寄附者に対する本市特産品の贈呈を本年度から実施することにしました。また、シティーセールスを念頭に甲府市観光協会など関係団体とも連携し、甲府を応援していただいた皆様に「ふるさと甲府」へ足を運んでいただけるよう、観光情報の提供や、観光施設等の優待券なども送付してまいります。

今後も、ふるさと納税をはじめ地場産品の販路拡大や企業誘致等への協力など、様々な角度からご支援いただけますよう、私自ら先頭に立ち、シティーセールスを積極的に推進してまいります。

新庁舎建設に伴う市内建設関係業者の活用について

新政クラブ

小野 雄造



【問】市内建設業者の経営規模は中央大手ゼネコンに比べれば小さいものではありませんが、これまでにも山梨県自治会館、県立美術館、甲府商工会議所、小瀬武道館、県総合交通センター、アイメッセ山梨等々、発注者の期待に応じて数々の建築物を竣工させており、現在ではどのような建設関連工事についても発注者の期待に充分対応できる自信と自負を擁し、新庁舎建設の受注に万全を期し対応されていると聞き及んでおり

ます。

当局は、どのような方式によって新庁舎建設の施工業者選定をなされるのか、また併せて今後のスケジュールをお示しください。

【答】新庁舎建設基本計画においては、建設を進めるための事業手法として、地元企業がより参入しやすい設計・施工分離発注方式としました。

すでに設計においては、大手事務所と市内事務所のJV方式を取り入れ、地元複数事務所の参加が得られております。

本年度は、発注方式の決定後、施工者選定作業を進めていきます。

作業を進めるにあたっては、市内業者にもより多くの受注機会が確保され、直接的・間接的経済効果が市内で循環し、地元経済の活性化に寄与できる方式を選定していきます。

今後のスケジュールにつきまして、発注方式の決定及び実施設計を平成二十三年二月上旬までに、施工者選定作業を同年四月末までに実施し、六月には、着工の予定となっております。

子宮頸がんの予防ワクチン助成事業について

公明党

渡辺 礼子



【問】若い女性に急増する子宮頸がん。このがんから女性の体を守る画期的なワクチンが、昨年末に国内で認可されました。しかし、ワクチン接種の費用が高額であります。

そこで、我が公明党では、二年前から子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を強く求めてまいりました。その結果、本市においては、宮島市長の英断により、接種費用の公費助成が実現することになりました。このことは、多くの皆様から喜びの声をい

ただいております。女性を代表しまして、心より感謝申し上げます。そこで次の点について伺います。

①集団で接種を行いますか、また接種がいつから実施となりますか。

②接種対象者は何年生からになりますか。

③講演会や学習会など、教育・啓発について計画がされていますか。

【答】①ワクチン接種の実施方法については、児童・生徒の体調管理に基づく接種が必要なこと等から、集団接種は行わない予定であります。また助成手続の開始時期については、早ければ本年八月から進められるよう取り組んでいきます。

②事業の対象者については、ワクチン接種の推奨年齢や接種機会の公平性等を踏まえ、小学校六年生及び中学校三年生の女子児童・生徒とします。

③ワクチン接種の周知及び啓発については、広報誌やホームページを活用した市民への周知をはじめ、助成対象の女子児童・生徒及び保護者に対しては、リーフレットによる啓発活動など特段の措置を講じていきます。

中道水道への送水について

政友クラブ

池谷 陸雄



水の供給（送水）がいつ頃可能か、お伺いします。

【答】中道水道への送水につきましては、県との事前協議の中で、笛吹川・濁川に架かる中道橋・濁川橋への水道管の設置について、「同意」をいただいたところであります。

今後は、この同意に基づき、国土交通省及び県との河川占用に係る事前協議を進めるとともに、事業統合の認可を得たうえで、平成二十五年までには、中道橋・濁川橋へ水道管を設置し、平成二十七年程度を目途として中道水道への送水を行っていく予定であります。

公共交通について

政友クラブ

飯島 脩

【問】本市では、平成十六年、十七年にコミュニティバスの実証実験を行っていますが、採算性の問題が一番の課題だったとの実証がありました。

平成十八年、十九年、山梨大学と



の公共交通に関する総合的な調査研究を行い、その結果市民の皆さんの公共交通に対する意識が低いこと、バスの本数の少ないことへの不満があること等が明らかになり、報告されております。

本年度はデマンド交通の実証実験を行うとのことですが、今回の実証実験を行うことに至った主な理由をお聞かせください。

また、コミュニティバスの実証実験から五年経過した今この実証実験を行う目的は何か、及び本年度中の実証実験の計画スケジュール等が提示できましたら、回答をお願いします。

【答】本市では、山梨大学との共同研究において、平成二十年三月に、

デマンド交通が新たな交通システムとして示されたことから、その有効性等を調査・研究するための資料収集や実証実験に向けた国等の助成制度に係る情報収集、折衝などを行ってきました。

本年十月を予定しています実証実験では、既存の公共交通と共存しながら交通弱者や交通不便地域の住民などに対して有効な移動手段となるかどうかを、運用面も含めて検証します。

なお、実験地域としては、高齢者人口が多い地域、既存の公共交通不便地域、公共交通の拠点である甲府駅との地理的環境等を総合的に検討し、相川地区としました。

今後は、地域住民の皆様と協議を行いながら、運行の期間、車両及び利用方法等について、決定していきます。



【問】現在、本市では甲府水道と中道水道の二つの水道事業を営営しており、合併前の甲府市の皆様方は、平瀬浄水場並びに昭和浄水場から水道水を供給されて料金を徴収されていましたが、中道地区の皆様方は既存の水源水の供給を受けています。

中道水道の区域の一部には水質基準以下ではあるものの現状の塩素減菌処理のみで配水した場合、配水池内および管路内に沈殿・付着物が発生するとお聞きしています。旧甲府市と同一の平瀬・昭和浄水場の水源

国民文化祭の取組みについて

新政クラブ

田中 良彦



【問】平成二十五年国民文化祭が、本県において開催することに決まりました。

国民文化祭は、毎年度道府県持ち回りで、文化活動を全国規模で発表する場を提供するとともに、国民の文化活動への参加意欲を喚起し、各地の文化の発信を行うなど、国内最大級の文化イベントであります。

本市においても、国民文化祭実行委員会を設置し、各地区文化協会と力を合わせ、身近な文化を掘り起こし、地域文化を底上げするとともに、

に、多数の観客を迎え、全国に本市をアピールする絶好の機会でもあります。

市内の各地区にある伝統芸能の発表や現在実施している短歌大会を大々的に発表する場を事業に取り入れることを提案します。

今後、国民文化祭に向けての取り組みについてのスケジュールと、どのようなものを考えているか伺います。

【答】今年度は、本市の参加事業などを示す「国民文化祭甲府市基本構想」の策定に着手するとともに、来年度に向け、庁内推進体制の拡大、及び国民文化祭甲府市実行委員会設立のための諸準備を進めていきます。

開催予定の事業としましては、「甲府演劇祭」の開催をはじめ、望郷歌人山崎方代の短歌や人生をテーマとした記録映画の作成などを予定しており、映像文化として、全国への発信を考えていきます。

開催事業の厳選が、国民文化祭の成否につながるため、ご提案の伝統芸能や短歌大会の事業も含め、慎重に検討していきます。

請願・陳情審査結果

6月定例会日程

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	20－4号 後期高齢者医療制度の廃止を求める請願	民生文教	不 採 択
	20－6号 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の運用の改善を求める意見書の提出を求める請願	〃	不 採 択
	21－2号 所得税法56条の廃止を求める意見書の採択を求める請願	総 務	継続審査
	21－6号 気候を保護する法制定に関する意見書の提出を求める請願	環境水道	〃
	21－8号 日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の調査・公表・破棄を求める意見書の採択を求める請願	総 務	〃
陳 情	22－1号 公契約条例制定を求める陳情	総 務	〃
	22－2号 「森林・林業再生プラン」の実現に向けた意見書の提出を求める陳情	経済建設	〃

6月 7日(月) 開会、提案理由の説明

8日(火)

9日(水)

} 議案調査のため休会

10日(木)

11日(金)

} 本会議、質疑及び
市政一般質問

12日(土)

13日(日)

} 休会

14日(月)

本会議、質疑及び市政
一般質問、各常任委員
会付託

15日(火)

各常任委員会

16日(水)

本会議、各常任委員長
報告、閉会

平成22年 6 月定例会審議結果

番 号	件 名	付託委員会	議決月日	結 果
議 案 第 55 号	専決処分について (平成21年度甲府市一般会計補正予算 (第 9 号))	総 務	6 月16日	承 認
議 案 第 56 号	専決処分について (甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について)	〃	〃	〃
議 案 第 57 号	専決処分について (甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について)	民 生 文 教	〃	〃
議案第58～61号	専決処分について (工事請負契約の変更契約の締結について)	経 済 建 設	〃	〃
議 案 第 62 号	専決処分について (平成22年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号))	民 生 文 教	〃	〃
議 案 第 63 号	専決処分について (甲府市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について)	総 務	〃	〃
議 案 第 64 号	専決処分について (甲府市道路附属物自動車駐車場条例の一部を改正する条例制定について)	経 済 建 設	〃	〃
議 案 第 65 号	平成22年度甲府市一般会計補正予算 (第 1 号)	分 割	〃	原案可決
議 案 第 66 号	平成22年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	民 生 文 教	〃	〃
議 案 第 67 号	甲府市環境保全条例制定について	環 境 水 道	〃	〃
議 案 第 68 号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総 務	〃	〃
議 案 第 69 号	甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 70 号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 71 号	甲府市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 72 号	甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 73 号	甲府市過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 74 号	甲府市学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	民 生 文 教	〃	〃
議 案 第 75 号	甲府市市立高等学校授業料、入学科及び入学審査料条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃
議 案 第 76 号	企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	環 境 水 道	〃	〃
議 案 第 77 号	甲府市土地開発公社定款の変更について	経 済 建 設	〃	〃
議案第78～85号	工事請負契約の締結について	民 生 文 教	〃	〃
議 案 第 86 号	工事請負契約の締結について	総 務	〃	〃
議 案 第 87 号	市道路線の認定について (上町12号線)	経 済 建 設	〃	〃
議 案 第 88 号	市道路線の認定について (上町13号線)	〃	〃	〃
議 案 第 89 号	市道路線の認定について (砂田4号線)	〃	〃	〃
議 案 第 90 号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	民 生 文 教	〃	〃
議 案 第 91 号	訴えの提起について	経 済 建 設	〃	〃
議 案 第 92 号	甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	総 務	〃	〃
甲 議 第 4 号	女性特有のがん検診と妊婦健診の国庫負担の継続を求める意見書提出について	委員会付託省略	〃	〃
甲 議 第 5 号	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書提出について		〃	みなし不採択
日 程 追 加	副議長選挙について		〃	第102代副議長当選
甲 議 第 6 号	常任委員会委員の選任について		〃	選任 (P12参照)
甲 議 第 7 号	議会運営委員会委員の選任について		〃	選任 (P11参照)
日 程 追 加	甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙について		〃	当選 (P11参照)
日 程 追 加	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員の選挙について		〃	当選 (P11参照)
日 程 追 加	新庁舎建設に関する調査特別委員会委員の補欠委員の選任について		〃	選任 (P11参照)

6月定例会より、甲府商工会議所 5階 多目的ホールでの本会議がスタート!

新庁舎建設に伴い、3年後の平成25年に新庁舎が完成するまでの間は、甲府商工会議所5階多目的ホールをお借りして本会議を開催いたします。

各常任委員会、会期前の議会運営委員会、特別委員会は、相生仮本庁舎で行います。



議員席



当局席

意見書



関係機関へ提出（要旨掲載）

○女性特有のがん検診と妊婦健診の
国庫負担の継続を求める意見書

今日、女性の健康管理が社会的に重要とされている。特に出産年齢の上昇などにより、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあるとともに、経済的な理由等により健康診査を受診しない妊婦もみられ、母体や胎児の健康確保を図る上で、妊婦健康診査の重要性、必要性が一層高まっている。

こうした中、国においては、安心して妊娠・出産ができる体制を確保することを目的に、平成二十年度からそれまでの妊婦健康診査を拡充し、また、平成二十一年度からは、女性特有のがん検診の国庫負担をはじめ、これらの事業による早期発見の実績は早期治療につながり多くの女性の健康と命を守っている。

しかしながら、妊婦健康診査と女性特有のがん検診に対する国庫補助制度は平成二十二年度までの時限措置であり、女性の健康管理と少子化対策推進のためには十分な措置であ

るとは言いがたい。誰もが健康で安心して暮らせ、そして子どもを生育できることができる社会的支援と環境整備が不可欠である。

したがって、国においては、妊婦健康診査と女性特有のがん検診に対する国庫補助制度を導入時の負担割合に引き上げ、平成二十三年以降も継続実施し、財政支援を講ずるよう強く要望する。

一 平成二十三年以降も妊婦健康診査の国庫補助制度を継続実施すること。

二 平成二十三年以降も女性特有のがん検診の国庫補助制度を継続実施すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。



市議会議員の寄附は禁止！ 有権者の寄附要求も禁止！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること。
- 議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと。（自筆の答礼は除く。）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

甲府市議会インターネット情報

☆市議会に関する情報、会議録検索システム、議会だよりは、甲府市のホームページから見るができます。

URL：http://www.city.kofu.yamanashi.jp

（メニュー：「市議会」からお入りください。）

☆甲府市議会に関するご意見、ご質問はこちらにお願いします。
gikai@city.kofu.yamanashi.jp



モバイル



新しい議会構成

(常任委員会はP12参照)

議会運営委員会

委員長	柳沢 暢幸	
副委員長	清水 仁	谷川 義孝
委員	齊藤 憲二	大塚 義久
委員	原田 洋二	駒木 明
委員	依田 敏夫	兵道 顕司
委員	中山 善雄	石原 剛
委員	山田 厚	

人事案件

甲府地区広域行政事務組合議会議員補欠議員の選挙

次のとおり、当選されました。

原田 洋二
渡辺 礼子

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員補欠議員の選挙

次のとおり、当選されました。

池谷 陸雄

新庁舎建設に関する調査特別委員会委員の補欠委員の選任

次のとおり、選任されました。

大塚 義久
兵道 顕司

市議会議員十五年在職議員表彰おめでとうございます

このたび、第八十六回全国市議会議長会定期総会及び第二百四十三回山梨県市議会議長会定期総会において、市議会議員として十五年在職された両氏は、地方自治の振興に尽力された功績が認められ、表彰を受けました。

谷川 義孝



柳沢 暢幸



議会を傍聴してみませんか

定例会において、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を傍聴することが出来ます。次の定例会は九月の予定です。

傍聴希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。



傍聴席から見た議場風景

市議会だより編集委員会

六月定例会が終わり、私たち新しい編集委員により「市議会だより」を編集していきます。

委員長 桜井 正富
副委員長 荻原 隆宏
委員 廣瀬 集一

委員 興石 修
委員 内藤 泉
委員 山田 厚
委員 石原 希美



暑中お見舞い

申し上げます

甲府市議会

常任委員会の構成

民生文教委員会

福祉部・市立甲府病院・教育委員会に関するもの、市民生活部のうち国民健康保険に関するものを調査します。



副委員長
兵道 顕司
公明党



委員長
清水 保
政友クラブ



委員
上田 英文
新政クラブ



委員
飯島 脩
政友クラブ



委員
原田 洋二
政友クラブ



委員
石原 希美
日本共産党



委員
山田 厚
市民クラブ



委員
桜井 正富
新政クラブ

総務委員会

市長室・総務部・企画部・市民生活部(国民健康保険を除く)・税務部・庁舎建設部・会計室・議会事務局・公平委員会・選挙管理委員会・監査委員に関するものを調査します。



副委員長
廣瀬 集一
政友クラブ



委員長
清水 仁
新政クラブ



委員
金丸 三郎
新政クラブ



委員
柳沢 暢幸
政友クラブ



委員
谷川 義孝
政友クラブ



委員
石原 剛
日本共産党



委員
中込 孝文
市民クラブ



委員
秋山 雅司
公明党

環境水道委員会

環境部・上下水道局に関するものを調査します。



副委員長
鈴木 篤
政友クラブ



委員長
渡辺 礼子
公明党



委員
依田 敏夫
新政クラブ



委員
池谷 陸雄
政友クラブ



委員
森沢 幸夫
政友クラブ



委員
中山 善雄
公明党



委員
興石 修
新政クラブ



委員
駒木 明
新政クラブ

経済建設委員会

産業部・都市建設部・農業委員会に関するものを調査します。



副委員長
田中 良彦
新政クラブ



委員長
佐藤 茂樹
政友クラブ



委員
大塚 義久
政友クラブ



委員
荻原 隆宏
政友クラブ



委員
斉藤 憲二
政友クラブ



委員
内藤 泉
公明党



委員
野中 一二
新政クラブ



委員
小野 雄造
新政クラブ